



MSD42-58005/6/7/8

ルーフスポイラー

取付・取扱要領書

この度はルーフスポイラー（MODELLISTA）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意を記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	メッキ色	適合車種	備 考
MSD42-58005-A0	プラチナホワイトパールマイカ(089)	シルバーメッキ	アルファード / ヴェルファイア	
MSD42-58005-C2	ニュートラルブラック(229)			
MSD42-58006-NP	未塗装品			
MSD42-58007-A0	プラチナホワイトパールマイカ(089)	スモークメッキ		
MSD42-58007-C2	ニュートラルブラック(229)			
MSD42-58008-NP	未塗装品			

- ・最新の適合情報は MODELLISTA 公式サイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>
- ・本商品とラゲージ LED（MODELLISTA MSE65-V2001）を同時装着する場合は、ラゲージ LED を先に取り付けてください。



■ 構成部品

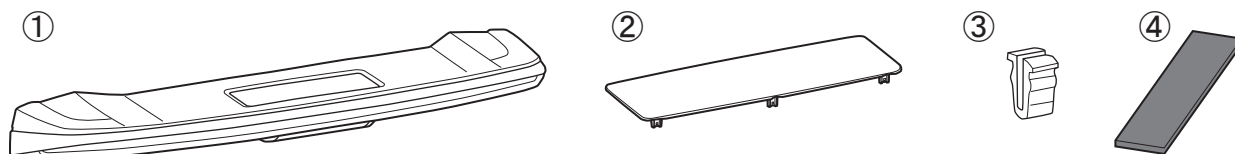
No.	品 名	品 番	個数	備考
①	ルーフスポイラー	_____	1	ABS
②	カバー	_____	1	ABS
③	クリップA	_____	3	
④	不織布テープ	_____	2	20×60

以下、MSD42-58006/8-NP（未塗装品セット）のみに同梱

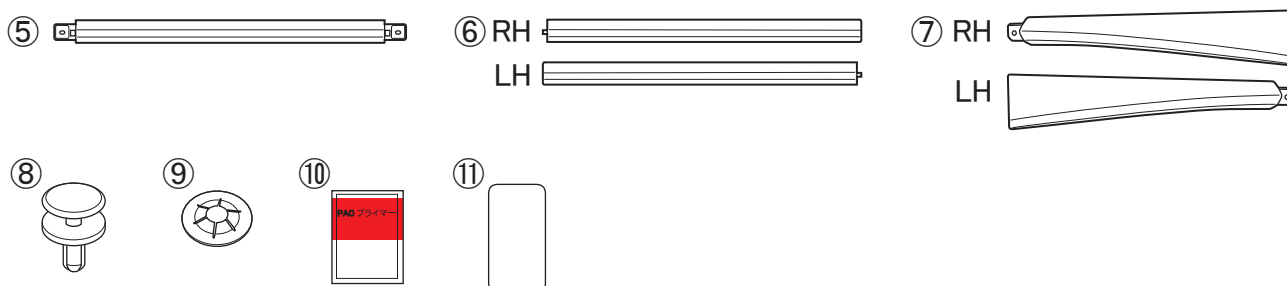
No.	品 名	品 番	個数	備考
⑤	メッキパーツA	_____	1	
⑥	メッキパーツB (RH/LH)	_____	各1	
⑦	メッキパーツC (RH/LH)	_____	各1	
⑧	クリップB	_____	4	
⑨	プッシュナット	_____	2	
⑩	PAC プライマー	08867-00250	1	N210NT
⑪	シム	_____	1	

※確認・本商品が到着後、すぐに破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MSD42-58006/8-NP（未塗装品セット）のみに同梱



■ 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊖ やってはいけないこと

⚠ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ⚠ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ⚠ 取り付け作業は規定トルクを守り、確実に締め付けてください。
締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- ⚠ 本商品を取り付ける前に本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには対応できない場合があります。
- ⚠ 本商品の取り付けはキズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ⚠ 特に指示のない限り、取り外した車両部品は再使用しますので紛失しないよう整理してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ⚠ 脱脂作業は清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)で行ってください。
上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ⚠ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤やパーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ⚠ 脱脂作業を怠ると両面テープが剥がれるおそれがあります。
- ⚠ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ⚠ 外気温が15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。
- ⚠ 両面テープの圧着はテープの直上を49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に押してください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれるおそれがあります。
- ⚠ 接着力を促進するため、取り付け後20分以内は洗車しないでください。

未塗装品の塗装作業について

- ❶ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❷ 本商品を塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❸ 乾燥させる際は商品の変形の無いよう固定してください。
又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので、下記温度条件で乾燥させてください。

〈温度条件〉

ABS系:60℃以下、 PP、PPE系:70℃以下

取り付けが終わったら

- ❶ 商品及び車両に傷が付いていないことを確認してください。
- ❷ 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
- ❸ 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❹ バッテリー復元作業終了後、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化は、GTS等のツールが必要な場合があります。
- ❺ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図	1～2
取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）	3～4
目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、 取り付け構成図	5
取り付け準備、取付要領	6～10
取り付け完了後の点検・注意事項	11～16
未塗装品の取り扱いについて	16

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・トルクレンチ
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ニッパー・切断工具・タッチアップペイント
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・保護メガネ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

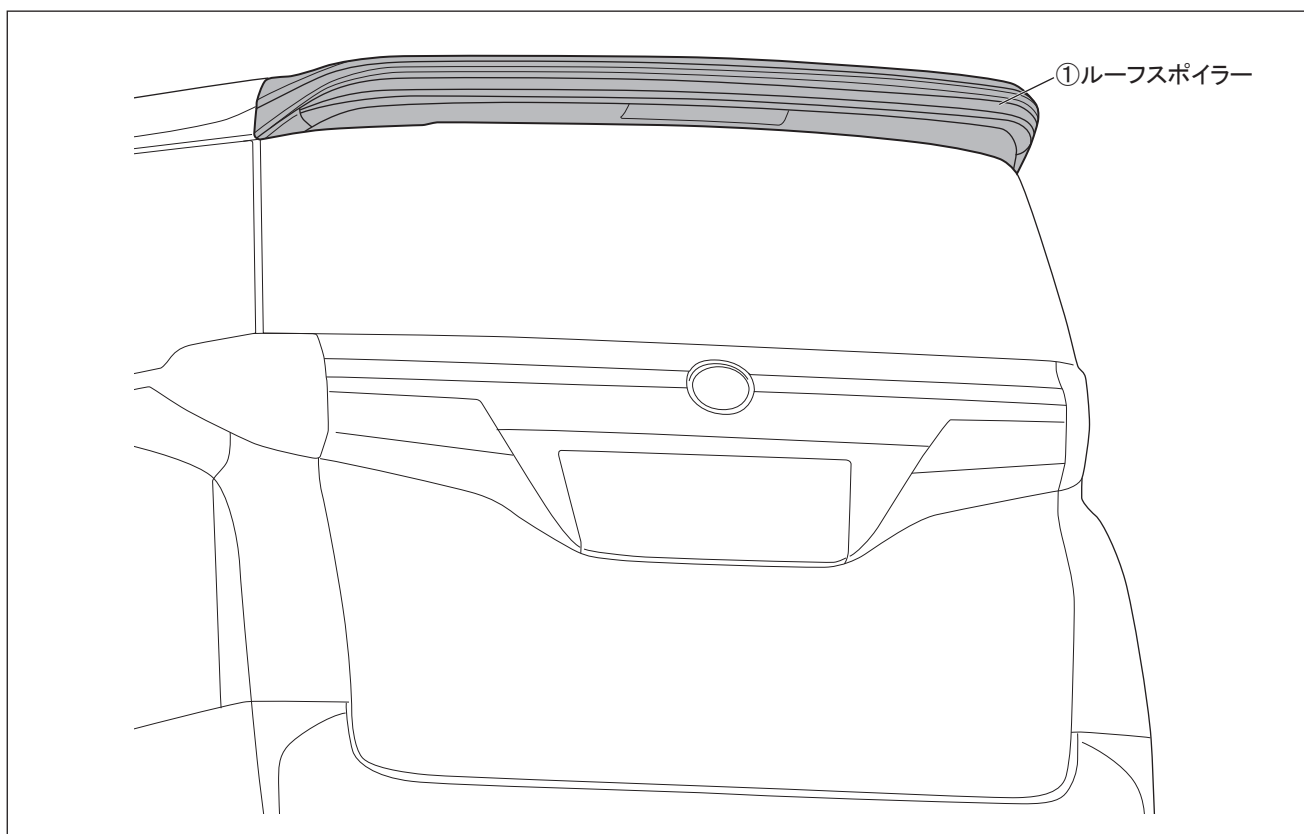
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細は MODELLISTA 公式サイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取り付け構成図



■ 取り付け準備、取り付け要領

□ ルーフスポイラー取り付け準備

【車両部品の取り外しと移設作業】

1. バックドアを開けた状態でバッテリーのマイナス端子を取り外す。

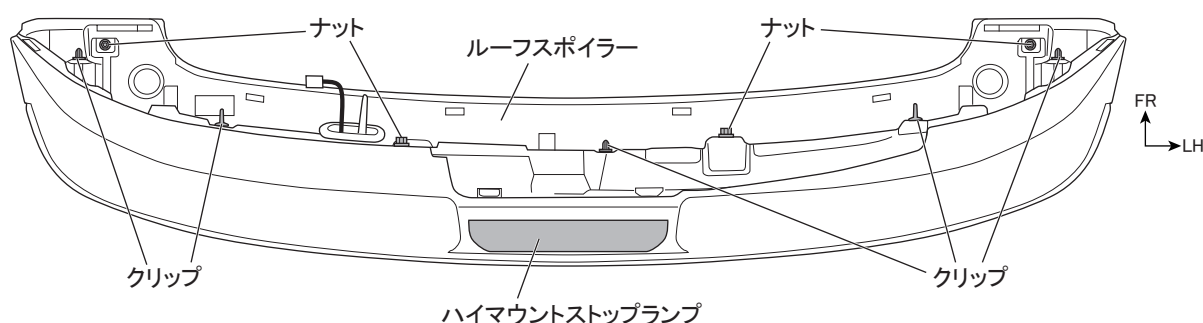
△注意：バックドアがロックしないようにストライカーに布等を巻いてください。

2. 該当車両の修理書に従い、バックドアから車両ルーフスポイラーを取り外す。

△注意：取り外した車両部品、車両スクリューは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

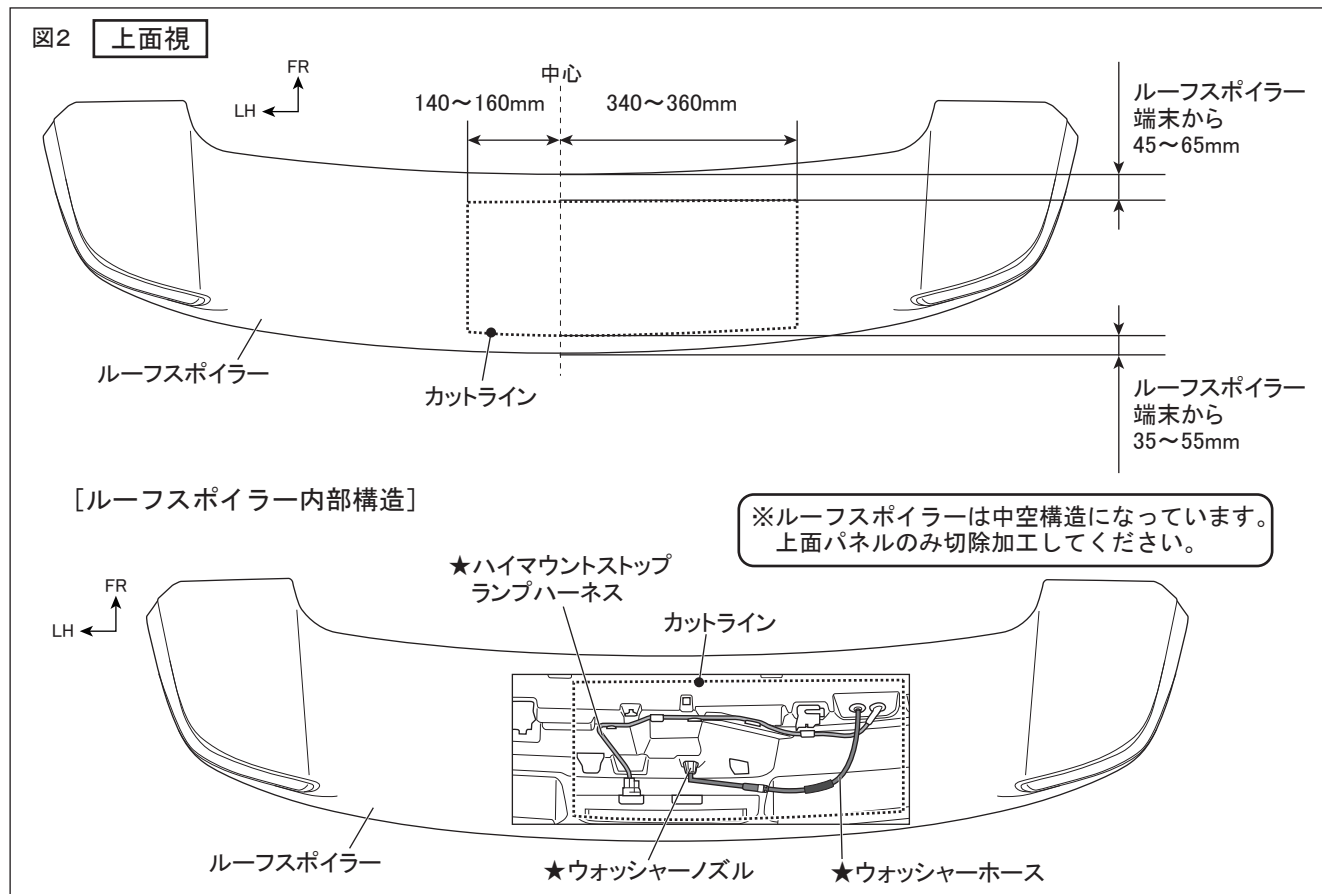
3. 図1のように該当車両の修理書に従い、車両ルーフスポイラーからハイマウントストップランプ、クリップ（5箇所）、ナット（4箇所）を取り外す。

図1 下面視



△注意：取り外したハイマウントストップランプ、車両クリップ、車両ナットは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

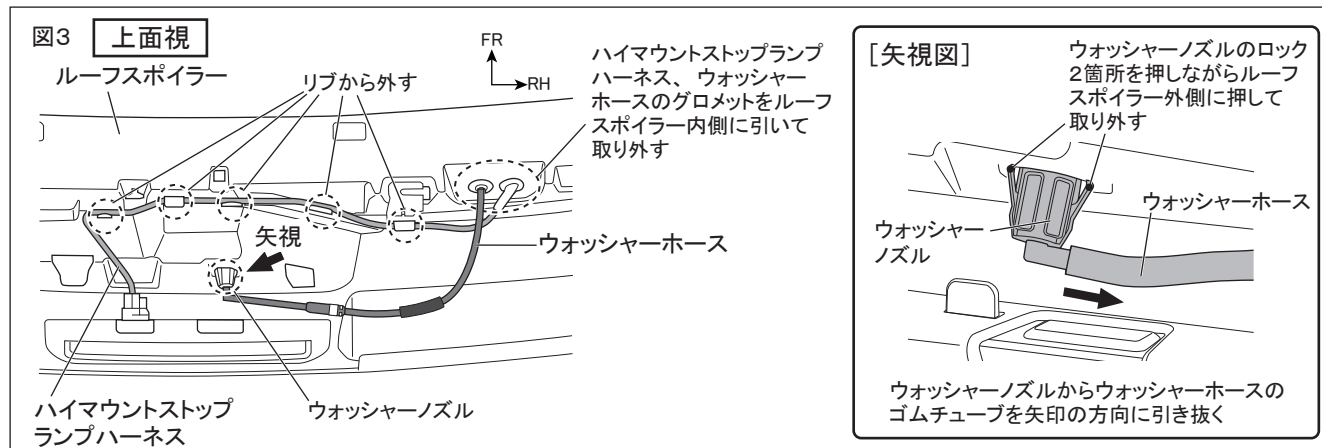
4. 図2のように破線部で車両ルーフスポイラー上面を切断する。



△注意：破線部より内側で切断すると移設部品（図中★マーク）を破損させるおそれがあるため、必ず破線部より外側で切断してください。

👉アドバイス：超音波カッターを使用すると作業性が向上します。

5. 図3のように作業4.で切断した車両ルーフスポイラーからハイマウントストップランプハーネス、ウォッシャーホース、ウォッシャーノズルを取り外す。



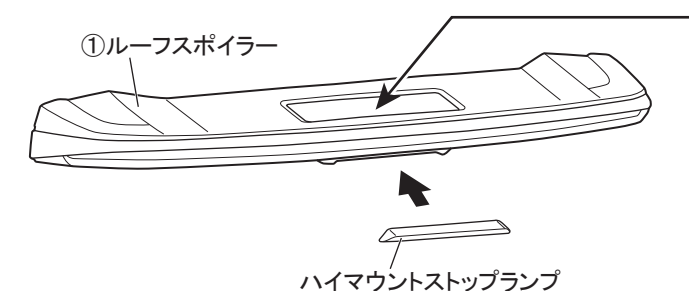
△注意：取り外したハイマウントストップランプハーネス、ウォッシャーホース、ウォッシャーノズルは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

△注意：ハイマウントストップランプハーネス、ウォッシャーホースは無理に引っ張ると断線、破損するおそれがあるため、慎重に取り外してください。

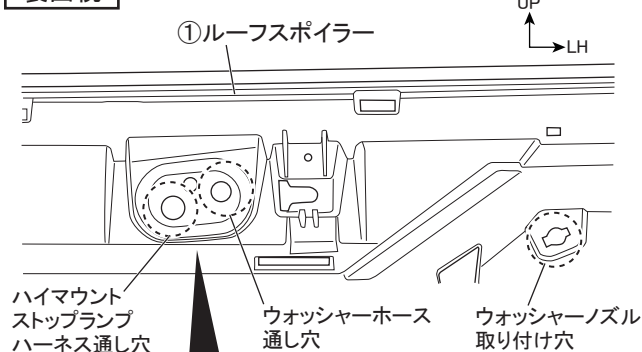
△注意：切断した車両ルーフスポイラーは再使用しません。

6. 図4のように作業 3. 5. で取り外したハイマウントストップランプ、ウォッシャーノズルを①ルーフスポイラーに移設し、ハイマウントストップランプハーネス、ウォッシャーホースを配策する。

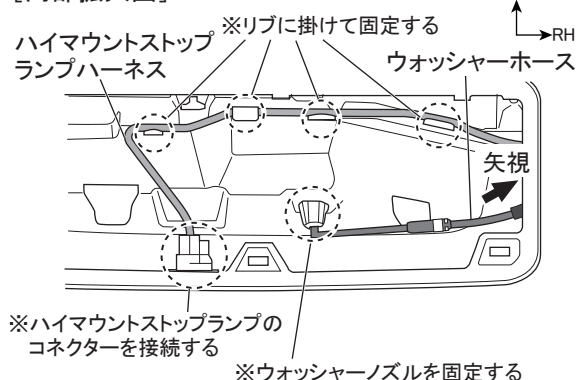
図4



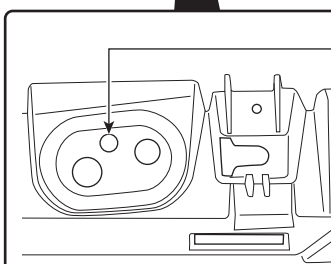
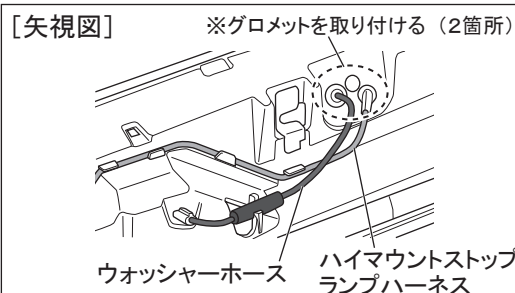
裏面視



[内部拡大図]



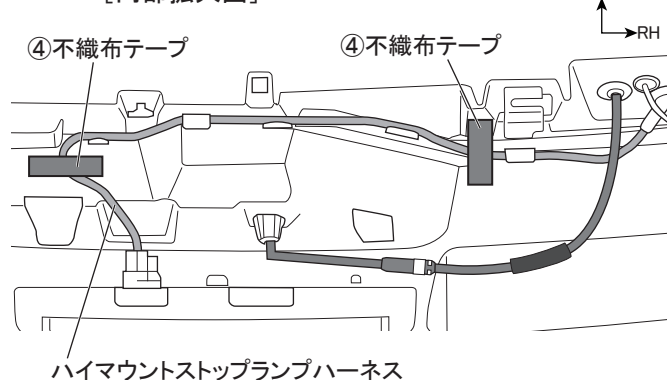
[矢視図]



中央の穴はイルミルーフスポイラー (MODELLISTA MSD41-58001/2/3/4) 用の配策穴です。
本製品では配線不要となる為、貫通穴のままご使用ください。

△注意：図の※印の箇所は純正ルーフスポイラーと同じ位置、固定方法で取り付けてください。

図5 [内部拡大図]



7. 図5のように④不織布テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂し、①ルーフスポイラー内部に配策したハイマウントストップランプハーネスを④不織布テープで固定する。
(2箇所)

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

△注意：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

8. 取り外したクリップ（5箇所）、ナット（4箇所）を車両ルーフスポイラーと同じ位置に移設する。

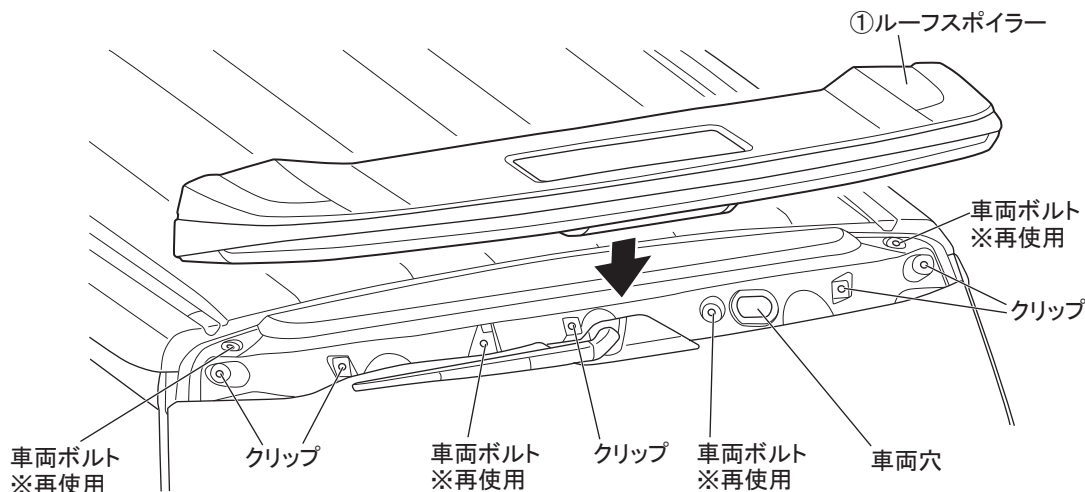
△注意：②カバーは取り付けないでください。

②カバーの取り付けは、①ルーフスポイラーを車両に取り付け、ハイマウントストップランプの点灯および、ウインドウウォッシャーの動作確認後に行います。

□ ルーフスポイラー取り付け要領

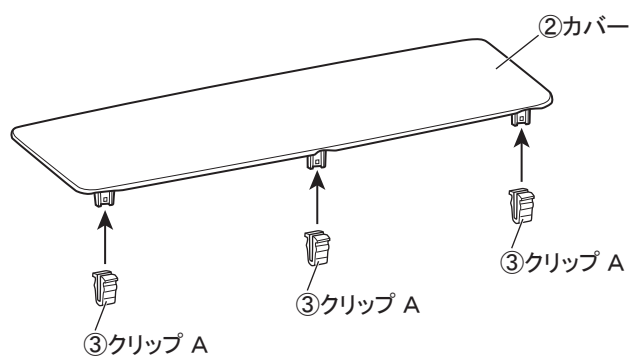
1. 図6のように該当車両の修理書に従い、車両ルーフスポイラー同様の手順で①ルーフスポイラーを車両に復元する。
その際、車両ルーフスポイラーを取り付けていたボルトの締め痕が目立つ場合は、タッチアップを施行する。
[車両ボルト締め付けトルク：6.0N・m]

図6



2. ①ルーフスポイラーが確実に装着されていることを確認し、バッテリーのマイナス端子を接続してハイマウントストップランプの点灯確認および、ウインドウウォッシャーの動作確認を行う。
3. 該当車両の修理書に従い、バックドアのトリムカバーを復元する。

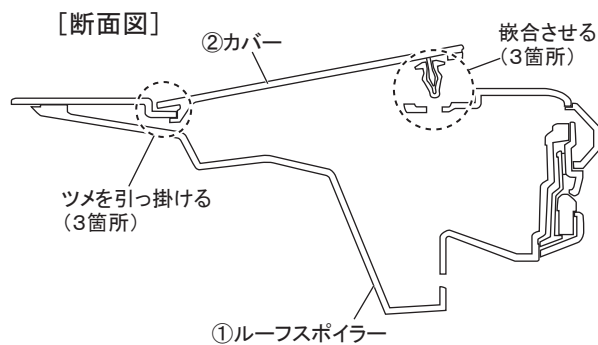
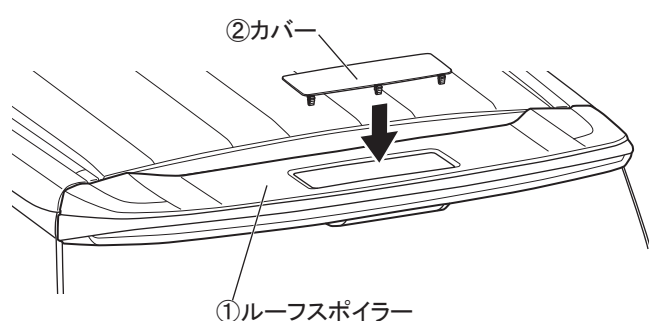
図7



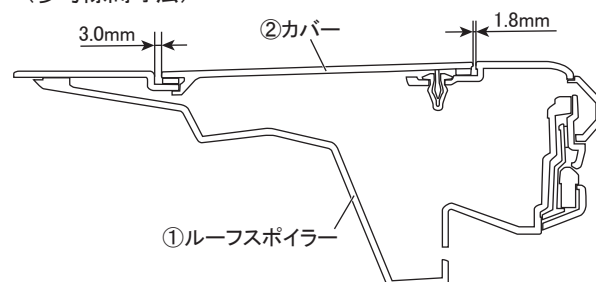
4. 図7のように②カバー下面のツメに③クリップAを取り付ける。（3箇所）

5. 図8のように①ルーフスポイラーに②カバーを取り付ける。(1箇所)

図8



(参考隙間寸法)



■ ルーフスポイラー取り付け後の確認・注意事項

1. ハーネスに無理な力がかかっていないか、噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無い事を確認する。
2. ハイマウントストップランプの点灯確認および、ウィンドウウォッシャーの動作確認を行う。

■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. 商品及び車両にキズが付いていないことを確認してください。
2. 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
3. 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
4. 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
5. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。

■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MSD42-58006/8-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

△注意：本製品は下地処理として、部品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

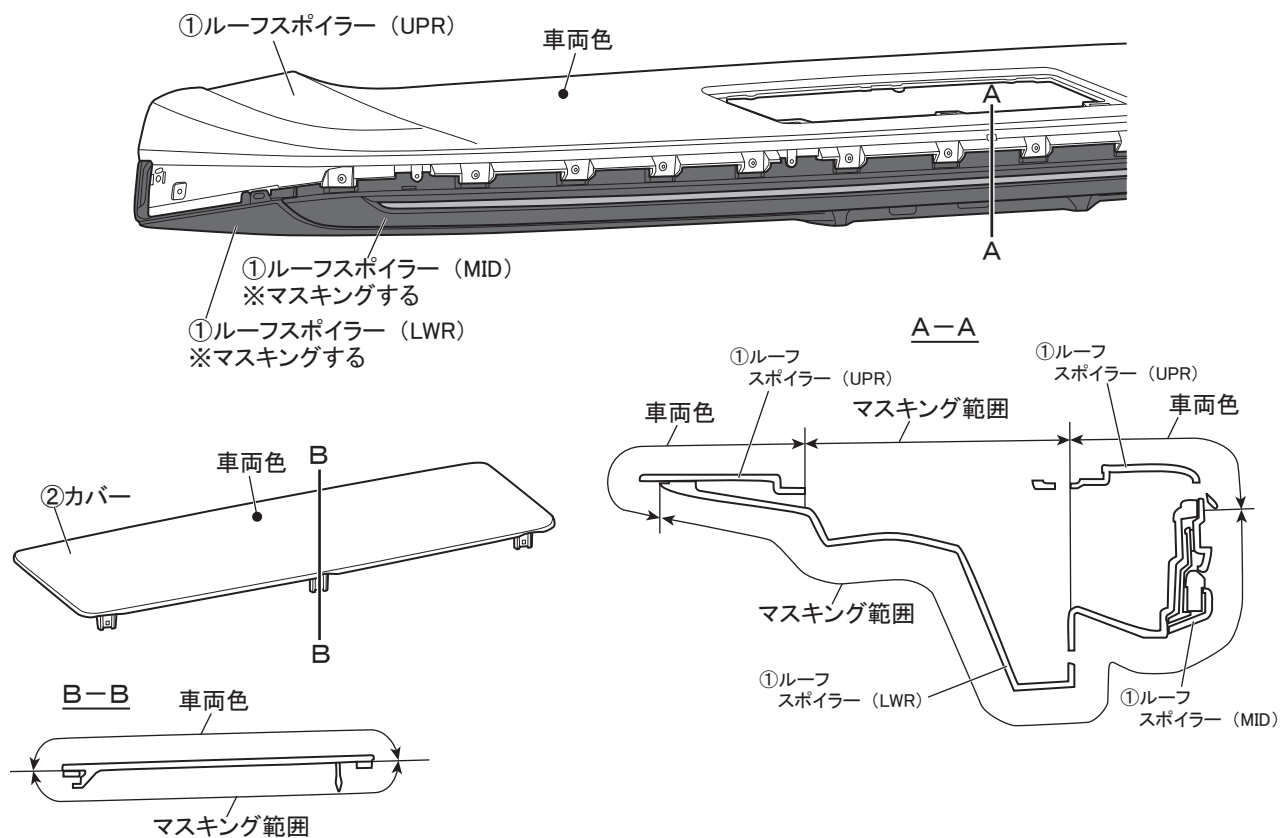
△注意：プライマーは非電導性のものをご使用ください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ ルーフスポイラーの塗装

- 図9のように①ルーフスポイラー（UPR）、②カバーを車両色で塗装する。
※①ルーフスポイラー下方の黑色塗装部分（MID、LWR）を確実にマスキングしてください。

図9 ※LH図示 左右共通作業

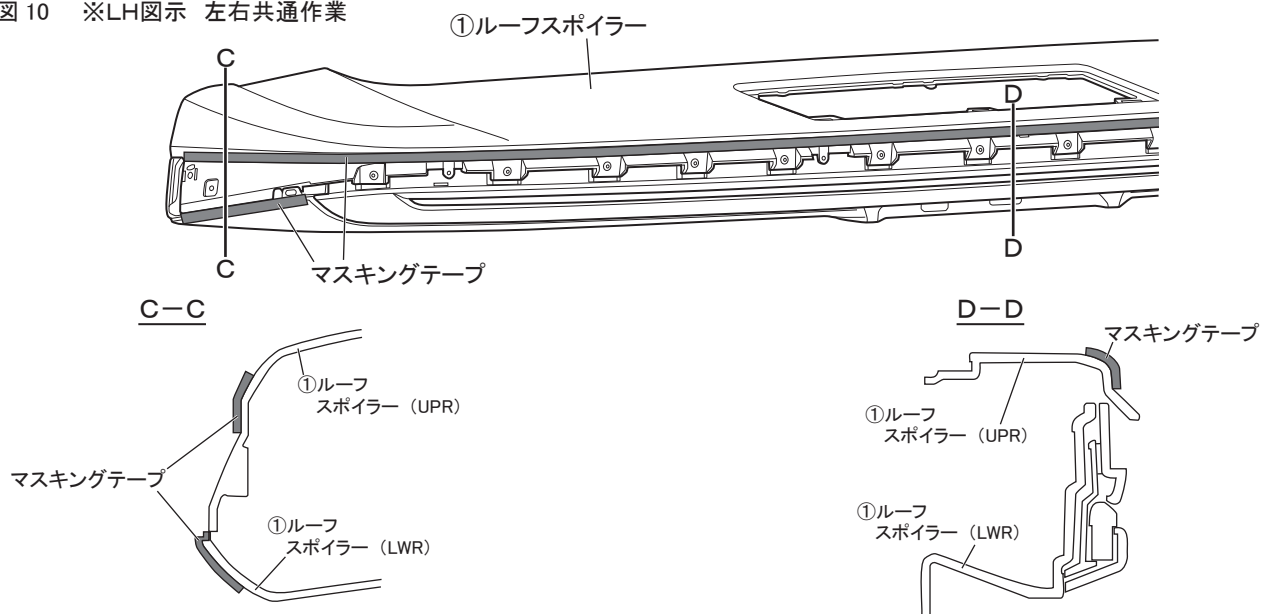


△注意：本製品は〈ABS〉です。乾燥温度を 60℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。上塗り用の塗装にはウレタン系をご使用ください。

□ メッキパーツの取り付け要領

1. 図 10 のように①ルーフスポイラーにマスキングテープを貼り付ける。

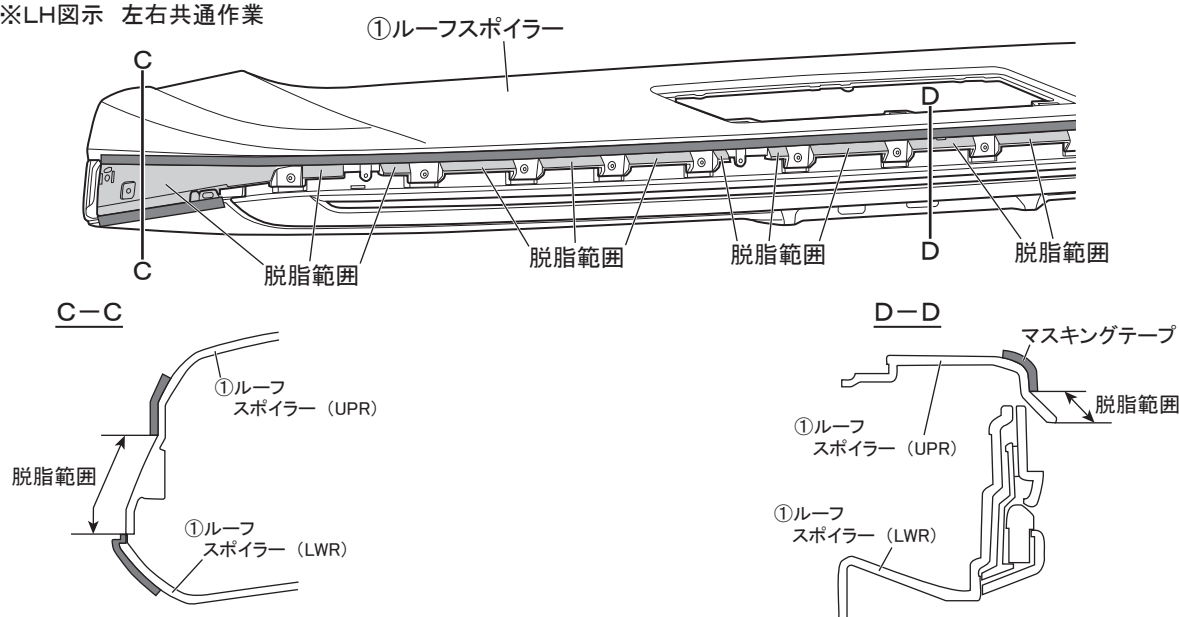
図 10 ※LH図示 左右共通作業



△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

2. 図 11 のように⑤メッキパーツA、⑥メッキパーツB、⑦メッキパーツCの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

図 11 ※LH図示 左右共通作業



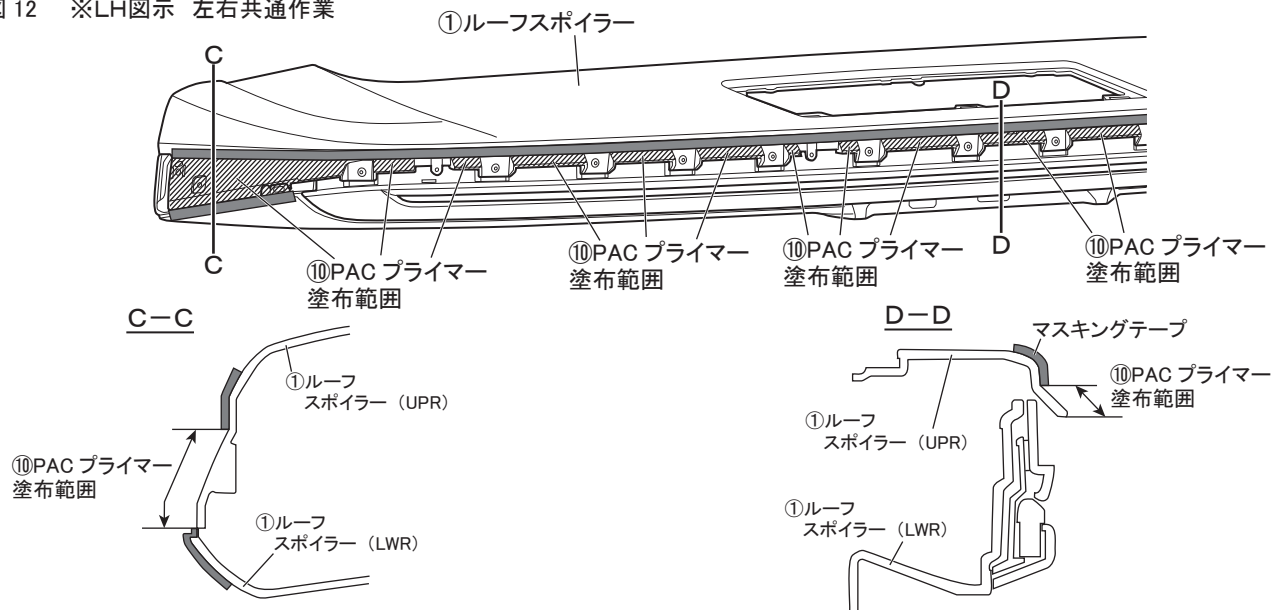
△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

△注意：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

3. 図 12 のように⑤メッキパーツA、⑥メッキパーツB、⑦メッキパーツCの両面テープ貼り付け部（斜線部）に⑩PAC プライマーを塗布する。

図 12 ※LH図示 左右共通作業



△ 注意

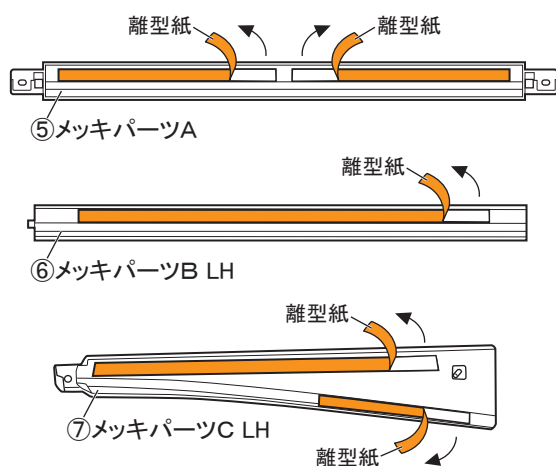
- ・ プライマー開封前に必ず使用要領を読んでください。
- ・ プライマーは塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーはイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は火気に充分注意してください。
- ・ プライマー塗布後 24 時間以内で乾燥時間をとってください。
- ・ 塗布後 24 時間以上のプライマー乾燥を行なった場合は、プライマーを塗りなおしてください。

4. マスキングテープを剥がす。

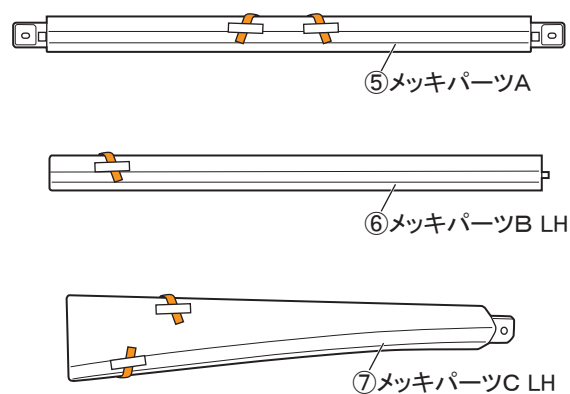
5. 図 13 のように⑤メッキパーツA、⑥メッキパーツB、⑦メッキパーツCの両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。

（⑤メッキパーツA：左右各1箇所、⑥メッキパーツB：左右各1箇所、⑦メッキパーツC：左右各2箇所）

図 13 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

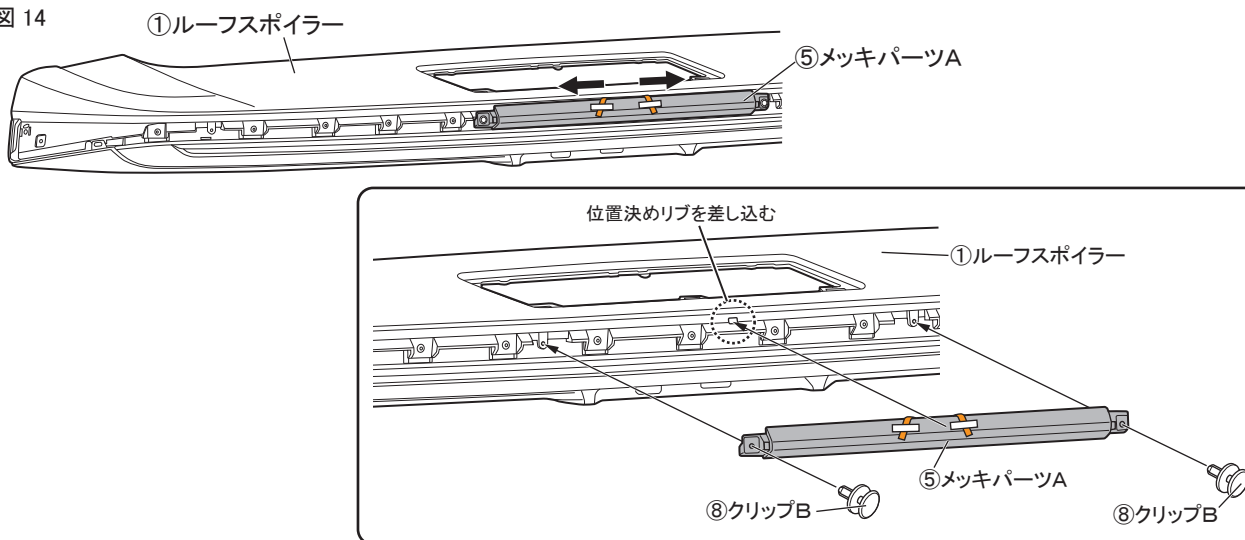


[表側]



6. 図 14 のように⑤メッキパーツAを①ルーフスポイラーにあて、⑧クリップBを差し込み（左右各1箇所）、両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各1箇所）

図 14

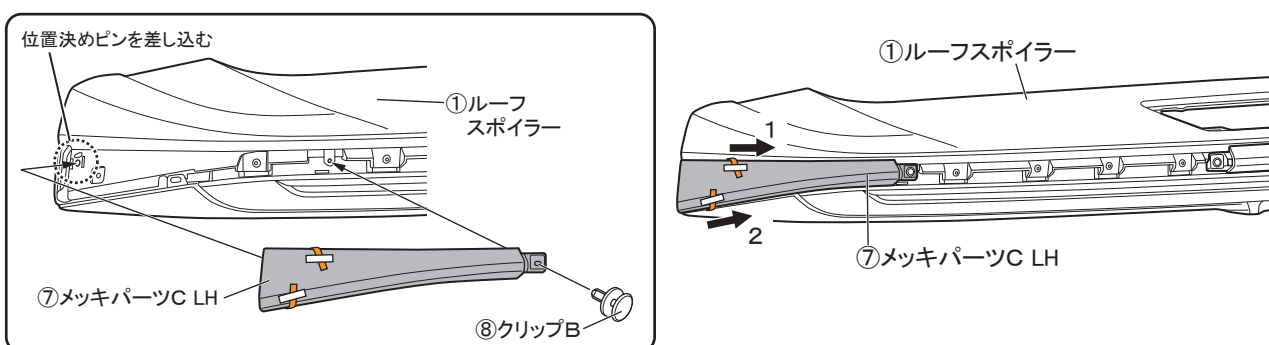


△注意：外気温が 15°C未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。

△注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

7. 図 15 のように⑦メッキパーツCを①ルーフスポイラーにあて、⑧クリップBを差し込み（左右各1箇所）、両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各2箇所）

図 15 ※LH図示 左右共通作業



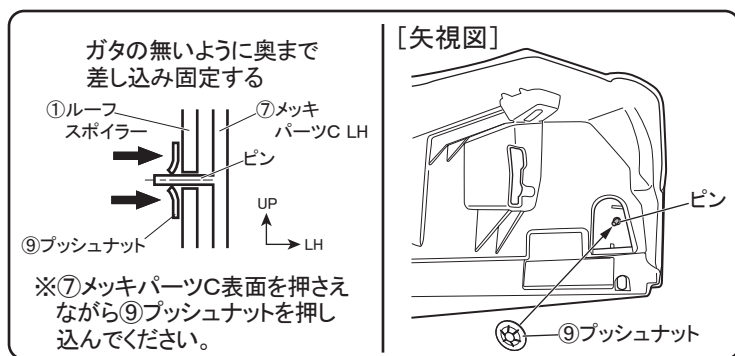
△注意：外気温が 15°C未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

△注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

8. 図 16 のように①ルーフスポイラー裏側から⑦メッキパーツCのピンに⑨プッシュナットを取り付ける。
(左右各1箇所)

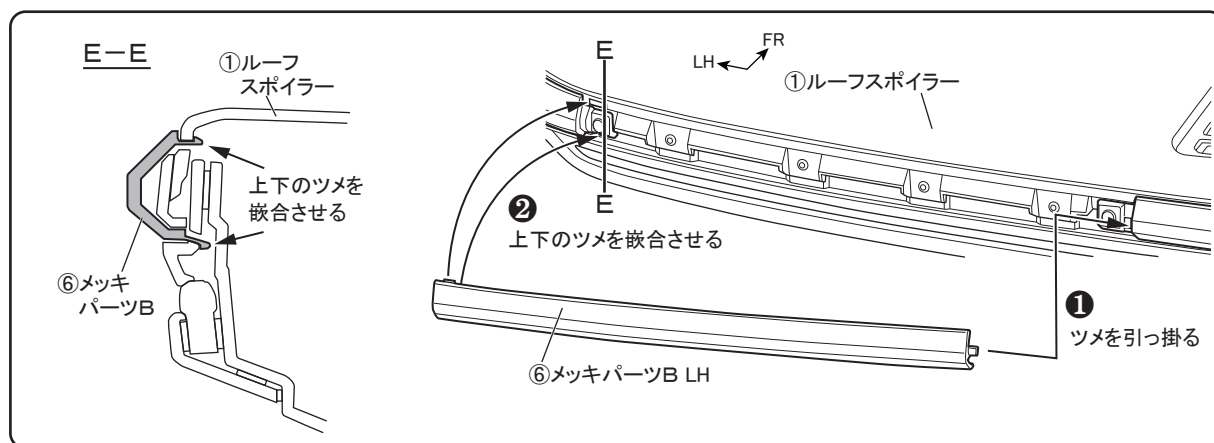
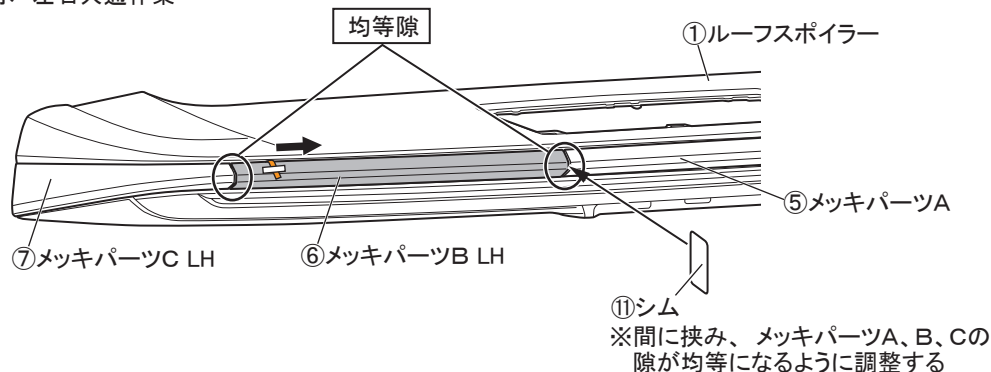
図 16 ※LH図示 左右共通作業



△注意：①ルーフスポイラーと⑦メッキパーツCにガタが無いように⑨プッシュナットを奥まで押し込んでください。
⑨プッシュナットが奥まで押し込まれていないと⑦メッキパーツCが浮く可能性があります。

9. 図 17 のように⑥メッキパーツBを①ルーフスポイラーにあて、⑤メッキパーツAと⑥メッキパーツBの間に⑪シムを挟み⑤メッキパーツA、⑥メッキパーツB、⑦メッキパーツCの隙が均等になるように位置を調整しながら、両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各1箇所)

図 17 ※LH図示 左右共通作業



△注意：外気温が 15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

△注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

10. ⑤メッキパーツA、⑥メッキパーツB、⑦メッキパーツCの両面テープ貼り付け部を再圧着する。

**アドバイス**

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、
掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

**警告**

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し
脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント

MODELLISTA 商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

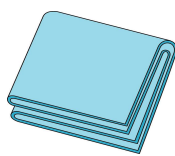


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



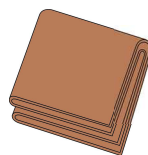
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



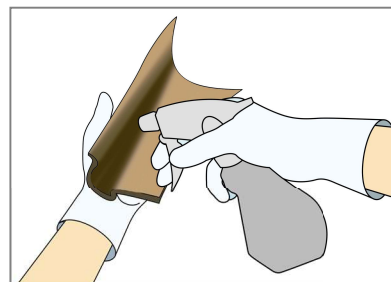
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

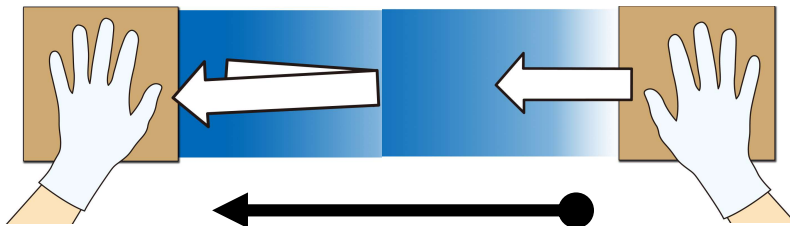
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

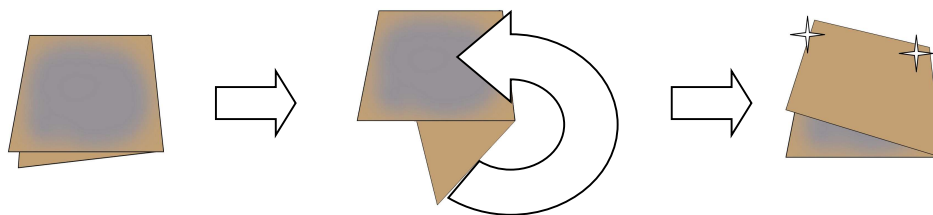
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。